

## 乗務復帰のために関東運輸局へ要請!!

東京第二運輸所分会と新幹線地本は、9月24日に関東運輸局に「新幹線乗務員の再教育」制度における現状の検証と懲罰的・極度のプレッシャーを生むような実態を改める指導をするように要請しました。

関東運輸局からは4名の担当者が参加をしていただき、私たちの1時間に及ぶ新幹線乗務員職場の現状についての話を聞いていただきました。

私たちは、丸家運転士の『危険と思って停止手配をとった』ことに対して「再教育」の対象となった不当性を強く訴え、ただちに乗務復帰をするよう指導を要請してきました。

さらに、些細な事故・事象を起こした乗務員全員に対して「新幹線乗務員の再教育」(レベル把握を含む)の対象となっていることや若手運転士の悲痛な叫びについての問題点を訴えてきました。

また、「新幹線乗務員の再教育」における組合差別も露骨に行われ、J R 東海 労 組 合 員 や 国 労 組 合 員 対 する 不 当 な 扱 い 対 する 現 状 について も 訴 えて 来 ました。

そして、新幹線職場での実態を把握してもらうために、大阪第一運輸所の西運転士に対する副所長による『パワハラ』の現状と大阪台車検査車両所における若手社員が亡くなった情報についても参考資料として渡してきました。

関東運輸局からは「要請書の内容について、上司を含めて検討して対応できることについてやっていきたい」との回答をいただきました。

私たちは、マニュアル最優先の安全感覚を変え、疑わしいとき列車を止める職場風土を確立するために、妥協なき闘いを展開する!!